

おめでとうござります!!



祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.23

みやぎSDGs Farm



みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。

詳しくはこちらから



賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL. 022-211-1318
koukoku@po.kahoku.co.jp



私は大学2年時に「消費社会論」の授業の中で「つくる責任・つかう責任」について

て学び、私たちの日常の選択が人や地域の環境に大きな影響を与えていることを知りました。今年の2月に中央太平洋にあるキリバス共和国の若者たちとオンラインで交流する機会があり、そのなかで気候変動による海面上昇や海洋ごみの漂着、漁業資源の変化などについて聞くことができました。

これらの経験から多くの方にキリバス共和国でみられる気候変動とその影響について知ってもらうために、大学が主催する「SDGsマルシェ」や「大学生と考えるSDGs」、地域のSDGs関連イベントに積



地域密着をモットーに、仙台にて建築関係の仕事をしています。宮城県は東

日本大震災に被災をし多くの被害を受けましたが、その実態は津波の被害などが多く、地震の揺れによる建物損壊にての人命被害は阪神淡路大震災や熊本地震と比べると決して多くはなかったと聞いています。

過去の大規模な地震において自宅の防災意識が低かったため、地震によって建物が倒壊し、そのため道路を塞いでしまい、緊急車両の通行の妨げになり早急な対応ができなかった事例も起きています。

仮に、このような状況に皆さんの知人が被害を受けたら地震(天災)だから仕方がないと言えるでしょうか。私にはそれは防



ある時、オフィスで業務をしているとどこからか「こんなトイレが遠かったか?」と声が聞こえてきました。3年前に

脳の病で倒れ今年から復職した社員からでした。今は杖をつけて、時には車椅子を使っています。私はその言葉が頭に残っていて話をしてみました。

社内運用上、出入口は入退室管理でカードをかざして入ることが当たり前。「荷物を置いて休憩しようにも椅子が小さすぎる」「個人ロッカーの暗証番号は忘れてしまいそうで不安がある」。普段過ごしている中で気づくことができないポイントばかりだった。

私の職務は空間提案です。お客さまのオ

当事者を巻き込んだオフィスづくりを

リコージャパン 志賀友美さん

フィスリニューアル支援、カーデザイナー様のショールーム提案など業種を問いません。社内では、現状に満足せず働く環境をより良くしていくと改善活動を重ね、そのノウハウを社内実践事例としてお客さまへ紹介する役割も担っています。新たに気づかされたことは、動きやすい環境作りを考える上で、大きな一歩となりました。いくつか発見できた改善点は、当事者を巻き込みながら社内環境に反映していることと思っています。このような視点は、お客さまも同様に気づけていないことかもしれません。多様性の世の中で、広い視野を持ちお客さまへの支援・提案に近づけていきます。

防災に意識を向けて

スイコー 千葉哲也さん

今現在皆さんが住んでいる多くの住宅は四号建築物といわれ、構造計算という耐震性に関わりのある計算の結果を申請時に報告する必要があります。私たちはSDGsの観点から11番の責任をつかう責任に向き合っています。私たちがいつか来るであろう東日本大震災クラス以上の地震に備えるため、作る責任から住宅を建築するにあたり構造計算を実践し、防災に備える家づくりを宮城県を地盤に推進していきます。

他人事だと思わず自分も

尚綱学院大学 遠藤奎汰さん

極的に参加し、ゼミの仲間たちと気候変動と私たちの暮らしの関係性について、ポスターを用いて情報発信しています。その中で私が特を考えていることは、日常生活をいかに変革できるかということですが、身近なところでは、当たり前ではありますが、モノを購入する際に必要性を検討し、必要量を買うようにしています。最近では、買い物に行った際には、環境にやさしい商品やフェアトレード商品を自ら探すようになりました。環境への影響を抑える商品を選ぶ人が増えることで、少しでも気候変動が緩和されることを願っています。

10 人々の平等をなくせず

8 働きがいも経済成長も

3 すべての人に健康と福祉を

12 つくる責任つかう責任

11 住み続けられるまちづくりを

14 海の豊かさを守ろう

13 気候変動に具体的な対策を

12 つくる責任つかう責任